

# DT-10 制約事項

2005/02/22 現在  
カシオ計算機株式会社  
システムソリューション営業統轄部

## 1.1 リセット

リセットは確実に 0.5 秒以上押してください。不確実な場合、電源が OFF したままとなります。その場合は、再度リセットを行なってください。

## 1.2 自動SetupでDialogを表示するとフリーズする場合があります

DT-10 の仕様では、FlashDisk 上に Setup.exe を格納してある場合、ハードリセット後の setup.exe の起動は、E-800 と同様、直ちに起動します。

リセットにて起動されるプログラム

- ¥¥CF カード ¥CE¥SA1100¥Setup.exe
- ¥¥SD カード ¥CE¥SA1100¥Setup.exe
- ¥¥FlashDisk ¥CE¥SA1100¥Setup.exe

ただし、上記Setup.exe内で、Dialog表示を使用する場合、起動後APIを呼び出す前にIsAPIReadyにてシステムで正常にAPIが使用できるまでwaitしてください。次に、IsAPIReadyでwaitしたあと、無条件で1秒間のwait(Sleep(1000))を入れてください。本件は、Microsoftの制約です。

また、Restore ファイルがある場合も同様に直ちに起動します。画面を占有しますので、他の操作はできません。従って、セキュリティの面で問題とはなりません。

FlashDisk に Setup を設定したが、全ソフトウェアを初期化したい場合、ActiveSync を使用して、PC より削除してください。ActiveSync を接続できない場合、OS を更新する手法で、FlashDisk を更新する必要があります。

## 1.3 Bluetooth 電源ON状態でON/OFFを数回繰り返すと接続に失敗する場合があります

Bluetooth 電源 ON 状態で PowerON/OFF を数回繰り返すと接続に失敗する場合があります。その時、以下のメッセージが表示されます。

The wireless system could not be start,  
Your Bluetooth module may be turned off, or it may be in a bad state,  
Turn on your Bluetooth module and try again

本制約は、BTツール使用時のみ発生します。APIを使用したアプリケーションでは問題ありません。

## 1.4 BT ツール、WLAN ツールが常駐した状態で、ON/OFFを数回繰り返すとハングする場合があります

本制約は、BTツール使用時のみ発生します。APIを使用したアプリケーションでは問題ありません。

## 1.5 Active Sync が、USB とシリアルケーブルが同時に接続されていると、シリアルでの通信ができない

Active Sync が、USB とシリアルケーブルが同時に接続されていると、シリアル通信設定にしても、シリアルでの通信ができません。PC 側の USB 設定を OFF にするか、USB/シリアル両方を結線しない様にしてください。(Active Sync の制約)

## 1.6 Bluetooth ライブラリでDelnitのあと10秒以上空けないと次回のIniti時にエラーが発生する場合があります

## 1.7 システムライブラリでSysGetOffMaskTimeを使用するとOffMaskTimeが5秒に設定されてしまいます